

ご利用
（施設の声）

繰り返し学べる安心感が、
日々の実践につながります



日本赤十字社
神戸赤十字病院

左:プリセプター 奈良 美里 様
右:新人看護師 田部 安哉音 様

当院では、コンテンツが豊富で、自己学習から集合研修まで幅広く活用できることから、2024年より導入しています。
空き時間に繰り返し視聴でき、理解が難しい技術も自分のペースで復習できます。動画には手順書も付属しており、印刷して活用できる点も便利です。一連の手順が整理されているため実践場面を具体的にイメージしやすく、日々の看護実践に役立っています。
プリセプターとしても、新人があらかじめ学習していることで落ち着いて実践に臨めており、支援のしやすさを感じています。

教育の質を維持しながら、
担当者の負担軽減を実現



社会福祉法人 恩賜財団 済生会
支部千葉県済生会
千葉県済生会習志野病院

左:看護師長 峯岸 洋子 様
右:看護師長 坪田 真紀子 様

当院では2025年からビジュアルナースングメソッドを活用しています。これまでは基準となる手順の整備を担当のスタッフが行っていたため、負担がかかっていました。ビジュアルナースングメソッドを導入したことで、手順書の作成・改訂作業が楽になり、担当者の負担軽減にもつながりました。
また、他スタッフからは「いつでも手順を確認・復習できる」「動画で見られるものもあり、わかりやすい」と好評です。

※記載内容は2026年9月現在のものです

受講費用(税別)

学研ナースングサポート または **看護師の** 特定行為研修(共通科目)と併用の場合※1

併用がおトク

ビジュアルナースングメソッドとともに、学研ナースングサポート(講義配信サービス・別売り)の著名講師陣による講義をOFF-JTで活用すれば、さらに質の高いOJTが実施できます!

年度契約

年度途中からの
お申し込みも可能

受講料金

20,000円/月

●単体でお申し込みの場合

受講料金

40,000円/月

選べるオプション※2

+ 単体でお申し込みの場合でも、以下のオプションの追加ができます!

看護管理者特別コースI	〈基礎・概論編〉認定看護管理者セカンド・サードレベルがおさえておくべき最新の看護マネジメント	10,000円/月
看護管理者特別コースII	〈実践編〉認定看護管理者セカンド・サードレベルに求められるマネジメント術を事例で学ぶ	10,000円/月
入退院支援・地域共生社会コースプラス+	「生きる」を支える～地域・病院で患者に寄り添う看護～	10,000円/月
学研介護サポート	新人から管理者まで施設(全職員)のためのe-ラーニング	10,000円/月
学研訪問看護サポート	基礎から実践まですべてのスタッフが学習できる!	15,000円/月
看護実践シミュレーション	臨場感のある事例動画で、「気づく力」を鍛え、看護に活かすシミュレーション研修!	10,000円/月
看護師の特定行為研修 実践サポート	修了者の「力」をもっと現場に届けるために施設みんなで学べる	10,000円/月
プレミアム管理機能	テストの合格点を設定したり、施設の独自研修をe-ラーニングシステム上に登録できます	10,000円/月

※1 看護師の特定行為研修の区分別科目、領域別/パッケージの費用については、別紙/パンフレットをご参照ください

※2 オプションの詳細は該当サービスのパンフレットをご覧ください

直感的な評価入力や看護手順書のカスタマイズ機能をお試しいただけます!

今すぐアクセス! >>>



お問い合わせ・資料請求は

株式会社 学研メディカルサポート

〒141-8414 東京都品川区西五反田2-11-8

Tel. 03-6431-1228 (代表)

FAX 03-6431-1414

WEB https://gakken-meds.jp

平日 9:00~18:00
担当: 営業部



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。

2027年度版

2026年 10 月発行

Gakken

「ビジュアル」 ナースングメソッド

監修

聖路加国際病院
国立成育医療研究センター

制作協力

ハートランドしぎさん

統一された
看護技術で
安心・安全な
看護を



現場の「実践」と「教育」をつなぐ、
次世代の学習プラットフォーム



累計導入院数 3年連続No.1

2026年5月期_看護師向け
E-ラーニングサービスにおける市場調査
調査機関: 日本マーケティングリサーチ機構

新テーマ続々公開中!

約400テーマ!

【精神科看護コース】2025年より好評配信中!

※一般病棟でもご利用いただけます

【周産期・母性看護コース】2026年2月より、
母性看護コースに周産期ケアのテーマを随時追加!

無料 デモ体験はこちらから!

🔍 ビジュアルナースングメソッド で検索



看護手順の見直しと看護技術教育 こんな「悩み」を抱えていませんか？

最新のエビデンスに基づいた看護手順書と
技術動画で、業務負担軽減と研修の充実を両立！

そのお悩み、
ビジュアルナースングメソッドが解決します！

業務委員Aさんの場合



業務委員
-看護師-

看護手順書の作成や更新が大変

- 看護手順書の作成や更新に手が回らない
- イチからつくるのは大変
- e-ラーニングを導入していても、看護手順書を最新版にアップデートするのが面倒



- ✓ 最新のエビデンスに基づき、学研が定期的に見直しを行っているので更新も簡単！
- ✓ さらに、自施設の内容に合わせた編集も可能！

➡詳しくはP6-7へ



業務委員
-看護師-

教育委員Bさんの場合



教育委員
-看護師-

指導者ごとに教え方が違い、 スタッフが混乱

- 指導者ごとに指導方法にばらつきがあり、スタッフが混乱する
- 新人の看護技術教育を充実させたい



- ✓ 全スタッフが統一された看護手順書と技術動画を使用することで、技術教育のばらつきを防げる！
- ✓ チェックリストや評価表を簡単に入力でき、到達度が確認しやすい！

➡詳しくはP8-9へ



教育委員
-看護師-

管理者Cさんの場合



管理者
-看護部長-

病院機能評価の準備が大変

- 病院機能評価の更新準備に時間と手間がかかる



- ✓ 病院機能評価の更新準備の際も、最新のエビデンスが反映された看護手順書を迅速に準備可能！

➡詳しくはP6-7へ



管理者
-看護部長-



Step
1

看護手順書で手技を学習

Point!

看護手順書が
編集できるので、
自施設に合わせた
技術研修ができる



Point!

ポイント で押さえてほしい
「**根拠**」や「**コツ**」、「**安全**」や
「**感染**」の観点も学習できる

Point!

すぐに探せる
AI検索機能を搭載

Step
2

技術動画で場面を理解

個々の手技はもちろん、患者への声かけから対応まで、看護の場面を理解できる
自施設の動画を追加でき、自施設の手技統一や研修に使える

Point!

短い動画でポイントや注意点を
何度でも確認できる!

Point!

実際の声かけを動画で学ぶことができる!



侵襲度の高いテーマを中心に3DCGを用いた動画も用意!



技術動画

3DCG動画

自信をもってケアができる!

安全な
看護手技の
実現

「吸引」や「採血」、「腰椎穿刺」など、看護技術実践中の
体内の状況がイメージでき、より深い技術の習熟につながります

※3DCG動画があるテーマは、P10~12をご覧ください

Step
3

テストで理解度を確認

学習した看護手順の理解度を自分で確認しながら復習できる

Point!

各受講者のテスト結果は
管理者・教育担当者も確認が可能!

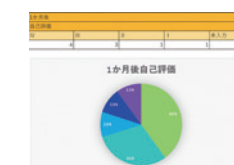
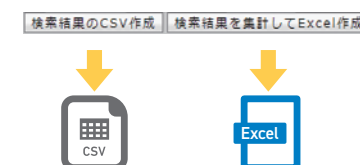
Point!

自施設に合わせた
テストに編集可能!

Step
4

評価表で到達度を共有

学習者と評価者は、評価表をWeb上または印刷して共有できる



① Web上または紙で共有
Webから教育担当者が評価表に評価を
入力し、学習者と共有できる!
評価表はCSVデータ・Excelデータで
ダウンロードできるため、印刷して
共有もできる!

② 評価表を集計して可視化
テーマ別・受講者別に評価表を集計したグラフを
Excelデータで出力可能!

さらに!
指導・評価で使える
チェックリストもご用意!

看護手順の管理をサポートする便利機能

編集機能

看護手順書の物品・手順・写真・技術動画やテスト問題を簡単に
編集でき、施設独自にカスタマイズ可能!以下の設定も可能です

- 1 テーマ名設定 施設独自のテーマ名に変更できる!
- 2 施設メモ設定 看護手順書にオリジナルのメモを追記できる!
- 3 添付資料設定 医療機器マニュアルや院内資料などの
文書ファイルを添付できる!

更新お知らせ機能

学研が定期的にコンテンツを見直し、最新の情報に更新
更新されたコンテンツは、「テーマ管理」ボタンより簡単に反映!



編集は「テーマ管理」ボタンから

環境調整技術				
VNMAA005_病室の環境調整	☒	手順	テスト	評価表
VNMAA010_ベッドメイキング	☒	手順	テスト	評価表
VNMAA020_臥床患者のシーツ交換	☒	手順	テスト	評価表

※更新があるテーマは
赤くなります

1 定期的に最新情報に更新

学研が、最新のエビデンスに基づき定期的に看護手順書を更新しています

改訂箇所がわかる資料もご用意しています

呼吸・循環を整える技術			
VNMAF010_鼻カニューレによる酸素吸入	☒	手順	テスト 評価表 テーマ管理
VNMAF015_簡易酸素マスクによる酸素吸入	☒	手順	テスト 評価表 テーマ管理
VNMAF020_ネブライザー機能付き酸素吸入器による酸素吸入	☒	手順	テスト 評価表 テーマ管理
VNMAF030_酸素ボンベからの酸素吸入	☒	手順	テスト 評価表 テーマ管理
VNMAF040_口腔内・鼻腔内吸引	☒	手順	テスト 評価表 テーマ管理
VNMAF050_気管切開患者の開放式吸引	☒	手順	テスト 評価表 テーマ管理
VNMAF060_挿管患者の開放式吸引	☒	手順	テスト 評価表 テーマ管理

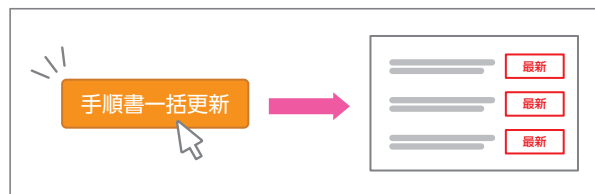
自施設で編集された場合は項目の枠がピンク色で表示されます

最新のコンテンツが公開されていることを「テーマ管理」ボタンでお知らせ！
 ・受講者画面には表示されないで安心！ ・自施設で編集しているコンテンツも消えません！

改訂箇所	
目的と適応 目的 適応 物品 手順 ポイント	目的と適応 目的 適応 物品 手順 ポイント

NEW
学研の最新コンテンツへの一括更新機能が搭載されます

(2027年4月リリース予定)



病院機能評価の準備の時に安心＆便利！

NEW
看護手順書の更新履歴が簡単に入力・出力できるようになります

(2027年4月リリース予定)

すべてのテーマ			
VNMAA005_病室の環境調整	☒	手順	テスト 評価表 テーマ管理
VNMAA010_ベッドメイキング	☒	手順	テスト 評価表 テーマ管理

2 簡単に編集できる

自施設の採用物品や運用に合わせて簡単に編集できます

Sample テーマ：VNMAJ210_胸囲測定

目的と適応	
目的	測定値から患者の臓器（肺や心臓など）の成長や発育の程度、一般状態や病状を把握し、今後の検査、疾患の診断、治療に役立てる
適応	すべての患者
物品	☐ メジャー ☐ アルコール拭き拭きクロス ☐ 手指消毒薬 ☐ 記録用紙と筆記用具（またはカルテ） ☐ 廃棄容器 （必要時） ☐ 手袋
その他	◆基本的事項 ・胸囲とは、肩甲骨下縁の高さで体幹と直角に交差する面の胸周囲径のことである
手順とポイント	
1 【事前に確認すること】	・2回目以降の測定の場合は、前回の測定値・測定条件（体位など）
2 2回目以降の測定の場合は、前回の測定条件に統一する	
3 メジャーを準備し、目盛り表面をあらかじめアルコール拭き拭く（図表1）	
 図表1. メジャーの消毒	
ポイント	・環境表面に存在する病原微生物などを除去する ・アルコールが禁忌の場合は、環境クロスを使用する ・[コツ]メジャーは消毒できるビニール製で、目盛りが読み取れることを確認しておく

看護手順書のここがPoint!

目的・適応から始まる統一された構成です！

自施設の採用物品に編集可能です！

手順やポイントを編集できるので、自施設に合わせた技術研修ができます！

画像の追加・差し替えも可能です！

ポイントで、押さえてほしい「根拠」「コツ」「安全」「感染」の観点も学習できます！

NEW
施設メモ機能がさらに充実します

(2027年4月リリース予定)

施設メモ機能がバージョンアップ！
 「目的・適応」「必要物品」「その他」「手順」「補足」などの項目別に施設独自のメモを入力・表示できるようになります

施設メモ機能	
目的・適応	・施設独自の目的・適応を記入する ・2回目以降の測定の場合は、前回の測定値と比較し後者を記録する
必要物品	・施設独自の必要物品を記入する ・2回目以降の測定の場合は、前回の測定値と比較し後者を記録する
その他	・施設独自のその他事項を記入する ・2回目以降の測定の場合は、前回の測定値と比較し後者を記録する
手順	・施設独自の手順を記入する ・2回目以降の測定の場合は、前回の測定値と比較し後者を記録する
補足	・施設独自の補足を記入する ・2回目以降の測定の場合は、前回の測定値と比較し後者を記録する

自施設の動画も追加できる！

「施設オリジナルコース」は最大60件まで設定可能

技術指導と評価をサポートする2つの仕組み

1 看護技術がいつでもどこでも簡単に学べる

最新のエビデンスに基づく看護手順書+技術動画で、
全スタッフが統一された手技を習得できます



単なる手順の紹介動画ではなく、
手順の前後の会話などを含めた
「一連の流れ」を場面で学べます

看護手順書は一括PDF化し、電子カルテへアップして活用可能です



手順書



チェックリスト



一括PDF化



電子カルテ

NEW

新たに、チェックリストの一括PDF化にも対応！
テーマを選択して一括PDF化が可能に！

(2027年4月リリース予定)

充実の8コース※ 約400テーマをご用意しています

※「施設オリジナルコース」を除く

看護技術
チェックコース

看護技術
チェックコースプラス+

小児看護コース

在宅終末期
ケアコース

緩和ケア
コース

腎不全看護
コース

周産期・母性看護
コース

精神科看護
コース

施設オリジナル
コース

NEW

「周産期・母性看護コース」、「精神科看護コース」それぞれに約10テーマ追加

(2027年2月リリース予定)

2 進化した評価システム

NEW

手技を確認しながら、タブレットやスマートフォンでチェックリストに
評価を入力できます

(2027年4月リリース予定)

NEW

チェックリストによる評価と評価表が自動連携し、
入力の手間を大幅に軽減します

(2027年4月リリース予定)

評価の正確性と効率性が向上



チェックリスト

自動連携



看護技術評価表



評価確認画面

評価状況を一覧で確認
できる画面を実装
(2027年4月リリース予定)

NEW

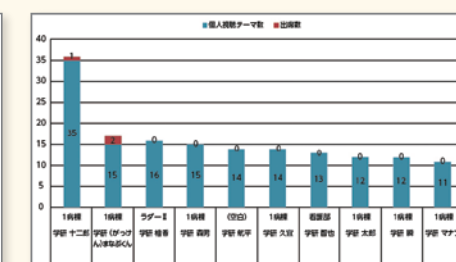
受講状況の検索性と視認性が向上し、
動画の視聴済/未視聴などが調べやすくなりました

(2026年7月リリース)

☐	コース	テーマ	氏名	履修完了日	総利用時間	動画視聴	最終
☐	VNMA_看護技術チェックコース	VNMAA005 病室の環境調整	学研 太郎	2026/07/22 11:01:21	00:02:26	視聴済	1
☐	VNMA_看護技術チェックコース	VNMAA020 臥床患者のシーツ交換	学研 花子	2026/03/25 10:13:37	00:02:14	視聴済	2
☐	VNMA_看護技術チェックコース	VNMAA005 病室の環境調整	学研 弘平	2026/03/25 09:05:25	00:30:43	視聴済	1

視聴状況を分析・グラフ化した資料を好きなタイミングで出力できます

(2026年4月リリース)



データ取得日	2023/9/18
データ取得日時	43
個人利用済テーマ数	1735
出席数	108
個人利用済または出席済のテーマ数	1815
1人あたり利用済テーマ数(個人利用済または出席)	42.209
合計利用済時間	6:09:25.10
平均利用時間	14:50:49
利用時間中最長	0:27:13
利用時間中最短	1:02:25:58
未アクセス人数	7
総アクセス率	83.7%
アクセスの重複数	187
視聴テーマ数	6
視聴済テーマ数	13
視聴利用済テーマ数	6
視聴利用済割合	46.2%



新人看護職員研修ガイドラインに沿い、準備・実践・記録まで学べるベーシック編

看護技術チェックコース 監修 聖路加国際病院

環境調整技術	関節可動域訓練(下肢)	体位ドレナージ	輸液ポンプの管理	動脈血採血の準備と検体の取り扱い
▶ 病室の環境調整	■ 入眠・睡眠の援助	■ 体温調整の基礎知識	▶ PCAポンプの使用	▶ 血糖値測定
▶ ベッドメイキング	■ 体動・移動に必要な患者への援助(認知症患者の場合)	創傷管理技術	■ PCAポンプの管理	▶ 心電図検査(12誘導心電計の装着と計測)
▶ 臥床患者のシーツ交換	清潔・衣生活援助技術	▶ 包帯法(螺旋帯)	▶ シリンジポンプの使用	▶ 心電図モニタの装着と管理
食事援助技術	▶ 全身清拭	▶ 包帯法(蛇行帯)	■ シリンジポンプの管理	▶ パルスオキシメータによる測定
▶ 間接的嚥下訓練(嚥下体操)	▶ 洗髪(ベッド上で行う場合)	▶ 包帯法(亀甲帯)	▶ 輸血の準備	▶ 身長測定
▶ 間接的嚥下訓練(アイスマッサージ)	■ 洗髪(洗髪台を使用する場合)	▶ 包帯法(麦穂帯)	▶ 輸血の実施	▶ 体重測定
▶ 安全な食事介助のための準備	▶ 口腔ケア(非挿管患者の場合)	▶ 包帯法(三角巾)	■ 輸血中と輸血後の観察	▶ 胸囲測定
▶ 食事介助	▶ 口腔ケア(挿管患者の場合)	■ 褥瘡の予防	■ 麻薬の理解と管理	▶ 腹囲測定(立位)
▶ 経鼻経管栄養チューブの挿入と抜去	▶ 入浴介助	▶ 褥瘡の予防 ― 摩擦と ずれ予防	■ 特別な注意を要する薬剤の管理	▶ 腹囲測定(臥位)
▶ 経鼻胃管からの栄養法	▶ シャワー浴介助	▶ 褥瘡処置	■ 抗菌薬の用法の理解と副作用の観察	苦痛の緩和・安楽確保の技術
▶ 胃ろうからの栄養法	▶ 陰部洗浄	▶ 創傷処置(サージカルテープとフィルムドレッシング材の貼り方、はがし方)	■ 抗ウイルス薬等の用法の理解と副作用の観察	▶ 安楽な体位の保持
▶ 腸ろうからの栄養法	▶ 陰部洗浄(膀胱留置カテーテル挿入患者)	与薬の技術	救命救急処置技術	■ 冷電法
▶ 経腸栄養ポンプ:アプリックス スマート	▶ 手浴	▶ 経口与薬	▶ 意識レベルの把握	▶ 温電法
▶ 経腸栄養ポンプ:カンガルーポンプ	▶ 足浴	▶ 経皮与薬	▶ 一次救命処置(BLS)	■ リラクゼーション法
▶ 経腸栄養ポンプ:ネオフィードENポンプ	▶ おむつ交換	▶ 口腔内与薬	▶ バッグバルブマスクの使用法	■ 精神的安寧を保つためのケア
▶ 経腸栄養ポンプ:アミカ	▶ 寝衣交換	▶ 点眼	▶ ジャクソンリースの使用法	感染予防技術
排泄援助技術	▶ チューブ類の取り扱い(寝衣交換の場合)	▶ 点耳	▶ AEDの使用法	■ 標準予防策(スタンダードプリコーション)の考え方
▶ 臥床患者の排尿援助	■ 整容	■ 点鼻	▶ 気管挿管の準備と介助	▶ 手洗い
▶ 臥床患者の排便援助	■ 爪切り	▶ 直腸内与薬	▶ 止血法	▶ 手指消毒
▶ 導尿	■ フットケア	■ 吸入法(定量噴霧式吸 入器)	▶ チームメンバーへの応援要請	▶ 個人防護具の着脱
▶ 膀胱留置カテーテルの挿入	呼吸・循環を整える技術	▶ 吸入法(ドライパウダ ー式吸入器)	症状・生体機能管理技術	▶ N95微粒子用マスクの着脱
■ 膀胱留置カテーテルの管理	▶ 鼻カニューラによる酸素吸入	▶ 簡易懸濁法	▶ 脈拍測定	▶ 滅菌手袋の装着
▶ 膀胱留置カテーテルの抜去	▶ 簡易酸素マスクによる酸素吸入	▶ バイアル、アンプルか らの薬剤の吸い上げ	▶ 動脈触知(上肢)	▶ 滅菌ガウンの着用
■ 腎ろう留置中の患者の管理	▶ リザーバ付き酸素マスクによる酸素吸入	▶ ミキシング、プライミ ング	▶ 動脈触知(下肢)	▶ 滅菌物の取り扱い
▶ 浣腸(グリセリン浣腸)	▶ ベンチュリマスクによる酸素吸入	▶ 皮下注射	▶ 動脈触知(頭頸部)	■ 清潔野のつくりかた
▶ 摘便	▶ ネブライザー機能付き酸素吸入器による酸素吸入	▶ 筋肉内注射	▶ 腋窩検温	■ 感染性廃棄物の取り扱い
活動・休息援助技術	▶ 高流量鼻カニューラ(HFNC)酸素療法	▶ 皮内注射	▶ 体温測定(鼓膜)	■ 針刺し・切創・粘膜/創傷汚染予防策と発生後の対応
▶ 歩行介助	▶ 非侵襲的陽圧換気療法(NPPV)	■ インスリン製剤の種類 ・用法と副作用	▶ 血圧測定	■ 洗浄・消毒・滅菌
▶ 車いすへの移乗	▶ 酸素ボンベからの酸素吸入	▶ インスリン注射(専用 シリンジ)	▶ 血圧測定(電子血圧計)	安全確保の技術
▶ 車いすでの移送	▶ 口腔内・鼻腔内吸引	▶ インスリン注射(ペン 型)	▶ 血圧測定(下肢)	▶ 誤薬防止
▶ ストレッチャーへの移乗	▶ 気管切開患者の開放式吸引	▶ 静脈内注射(静脈穿刺 によるワンショット)	■ 瞳孔の評価	▶ 患者誤認防止策の実施(患者確認)
▶ ストレッチャーでの移送	▶ 気管切開患者の閉鎖式吸引	▶ 点滴静脈内注射	▶ 呼吸の観察と呼吸音の聴取	▶ 患者・部位・手技名の誤認防止(タイムアウト)
▶ チューブ類の取り扱い(移乗の場合)	▶ 挿管患者の開放式吸引	▶ 点滴静脈内注射の血管 確保	▶ 腹部の聴診	▶ 転倒・転落防止策
■ 良肢位の保持(仰臥位)	▶ 挿管患者の閉鎖式吸引	▶ 生食ロック・ヘパリン ロック	▶ 静脈血採血(シリンジ採血)	■ 薬剤曝露の防止
▶ 体位変換(左右の移動)	■ 人工呼吸器の準備	▶ 静脈内注射(三方活栓 からのワンショット)	▶ 静脈血採血(ホルダー採血)	■ 放射線被ばくの防止
▶ 体位変換(上下の移動)	■ 人工呼吸器の管理 ― 1.人工呼吸器と気道の管理	▶ 中心静脈カテーテル 挿入の準備	▶ 血液培養	■ 緊急やむを得ない場合の身体的拘束
▶ 体位変換(仰臥位から側臥位)	▶ 人工呼吸器の管理 ― 2.患者の観察	▶ 中心静脈カテーテル 挿入の介助	▶ 鼻咽頭ぬぐい液採取	■ 車いす使用時の身体的拘束
■ 体位変換(仰臥位からセミファウラー位)	■ 人工呼吸器の管理 ― 3.日常のケア	■ 中心静脈カテーテル 挿入患者の管理	■ 胃液採取	死亡時のケア
▶ 体位変換(仰臥位から端坐位)	▶ 人工呼吸器の管理 ― 4.アラーム対応	■ PICC(末梢挿入型中心静 脈カテーテル)挿入の準備	▶ 採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い(一般検査、細菌検査)	■ 死後のケア
▶ チューブ類の取り扱い(体位変換の場合)	▶ ジェットネブライザーの実施	▶ PICC(末梢挿入型中心静 脈カテーテル)挿入の介助	■ 採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い(蓄尿検査)	
▶ 筋力トレーニングを中心とした廃用症候群予防	■ 超音波ネブライザーの実施	▶ PICC(末梢挿入型中心静脈 カテーテル)挿入患者の管理	▶ 喀痰採取	
▶ 関節可動域訓練(上肢)	■ 人工呼吸器の回路交換	▶ 輸液ポンプの使用	▶ 喀痰採取(吸引による)	

NEW：2027年2月に新規公開予定のテーマ

NEW：2026年10月に新規公開したテーマ

Re：2026年10月に改訂したテーマ

🎥マーク：3DCG動画あり

🎥マーク：動画あり ■マーク：動画なし

※ 改訂した内容の反映は、各施設ごとにお選びいただけます



臨床カテゴリーを取りそろえたアドバンス編

看護技術チェックコース **プラス** 監修 聖路加国際病院

基本技術	
▶ 皮下埋め込み型ポートの管理	▶ 体外式ペースメーカー挿入患者の対応
▶ ドレーン挿入患者の管理	▶ 心臓ペースメーカー植え込み術直後の対応
▶ 局所麻酔における看護	▶ 消化器
■ 持続硬膜外麻酔カテーテルの管理と抜去	▶ 腹腔穿刺(腹水)
▶ 胃ろう周辺部のスキンケア	▶ 腹腔ドレナージ(腹水)
▶ 弾性ストッキングの着用	▶ 胃管挿入患者の管理
▶ 間欠的下肢空気圧迫法	▶ イレウス管挿入患者の管理
▶ 救急	▶ ストーマサイトマーキング
▶ 救急カートの点検	▶ ストーマ造設術直後の装具交換
▶ 電気ショック(除細動器)	▶ ストーマ装具の排泄物処理
▶ ハイムリック法	▶ 検査
▶ 気道閉塞時の吸引	▶ 腰椎穿刺
▶ 経口エアウェイ・経鼻エアウェイ	▶ 骨髄穿刺
▶ 熱傷時の初期対応	▶ 上部消化管内視鏡検査
▶ 胃洗浄における看護	▶ 上部消化管内視鏡検査看護
▶ アナフィラキシー発症時の初期対応	▶ 下部消化管内視鏡検査
▶ 病院内での成人に対する二次救命処置(ALS)	▶ 下部消化管内視鏡検査看護
▶ 手術	▶ 気管支鏡検査
▶ 硬膜外麻酔の準備と介助	▶ 気管支鏡検査看護
▶ 貯血式自己血輸血の採血	▶ 心臓カテーテル検査
▶ 集中ケア	▶ 心臓カテーテル検査看護
▶ 脳室ドレーンの管理と抜去	▶ 血管造影検査
■ 腰椎ドレナージの準備と介助	▶ 血管造影検査看護
■ 腰椎ドレナージの管理と抜去	▶ 上部消化管X線造影検査
▶ 観血的動脈圧測定(準備)	▶ 上部消化管X線造影検査看護
▶ 観血的動脈圧測定(カテーテルの挿入)	▶ 超音波検査
▶ 観血的動脈圧測定(採血)	▶ 超音波検査看護
▶ 観血的動脈圧測定(管理)	▶ RI検査
▶ 呼吸器	▶ RI検査看護
▶ 経皮的輪状甲状靱帯(膜)穿刺	▶ CT検査
▶ 気管切開部の管理	▶ CT検査看護
▶ 気管切開チューブ交換の介助	▶ MRI検査
▶ 人工呼吸器離脱(SAT、SBT)	▶ MRI検査看護
▶ 人工呼吸器離脱(気管チューブの抜去)	▶ X線一般撮影
▶ 胸腔穿刺(胸水)	▶ X線ポータブル撮影
▶ 胸腔ドレーン挿入(胸水)	▶ その他
▶ 胸腔ドレーン挿入(気胸)	▶ 陰圧閉鎖療法(NPWT)中の患者の管理
▶ 胸腔ドレナージの管理(日常点検・観察)	▶ 介達牽引・直達牽引の介助
■ 胸腔ドレナージの管理(トラブル時の対応)	▶ 牽引中の患者の管理
■ 胸腔ドレーンの抜去	■ 神経根ブロックの検査前準備(病棟・外来)
▶ 循環器	■ 神経根ブロックの検査前準備(放射線科)
▶ 心膜ドレーン挿入	▶ 神経根ブロックの検査介助
▶ 心膜ドレーンの管理と抜去	■ ギプス巻きの介助
	■ 牽引中の体位交換

NEW：2027年2月に新規公開予定のテーマ **Re**：2026年10月に改訂したテーマ

▶マーク：3DCG動画あり ▶マーク：動画あり ■マーク：動画なし

※ 改訂した内容の反映は各施設ごとにお選びいただけます

小児看護に必要な臨床の声かけ・技術を学ぶ

小児看護コース 監修 聖路加国際病院

食事援助技術	
■ 安全な食事介助のための準備	▶ 抱っこ
▶ 食事介助(調乳)	▶ 呼吸・循環を整える技術
■ 食事介助	■ 酸素吸入(総論)
▶ 排泄援助技術	■ 酸素吸入(鼻カニューレ)
▶ 浣腸(グリセリン浣腸)	■ 酸素吸入(酸素マスク)
▶ 活動・休息援助技術	■ 口腔内・鼻腔内吸引
▶ ベビーカーの使い方	▶ 与薬の技術
■ 入眠・睡眠の援助	■ 吸入法(総論)
▶ 清潔・衣生活援助技術	■ 吸入法(ジェットネブライザー)
■ 口腔ケア	■ 吸入法(定量噴霧式吸入器)
▶ 小児の沐浴	■ 吸入法(ドライパウダー式吸入器)
■ シャワー浴介助	■ 点眼
■ おむつ交換	■ 点耳
▶ 症状・生体機能管理技術	■ 点鼻
▶ バイタルサインの測定	▶ 経口与薬
▶ 尿の採取	■ 直腸内与薬
▶ 身長測定	▶ 点滴静脈内注射の血管確保
▶ 体重測定	▶ 点滴静脈内注射
▶ 頭囲測定	▶ 救命救急処置技術
▶ 静脈血採血	▶ 意識レベルの把握
■ パルスオキシメータによる測定	▶ 一次救命処置(BLS)
▶ 苦痛の緩和・安楽確保の技術	▶ バッグバルブマスクの使用法
■ 冷電法	▶ AEDの使用法
■ 温電法	▶ 小児二次救命処置(PALS)
▶ 安全確保の技術	▶ その他
■ 転倒転落防止策	■ プレパレーション

知識や技術の向上、現場での実践に役立つ

在宅終末期ケアコース 監修 聖路加国際病院

在宅終末期ケア	
■ 終末期とエンドオブライフケアの考え方	▶ 初回訪問(服薬指導)
▶ 終末期ケアへの意思の確認	▶ 初回訪問(帰り際)
▶ 在宅療養の準備(情報源と収集すべき情報)	▶ 初回訪問(振り返り)
▶ 退院前カンファレンス	▶ 家族との関わり方
▶ 在宅療養の準備(患者と家族に提供すべき情報)	▶ チームアプローチ
■ 訪問前準備(緊急体制の確立)	▶ 急変時の対応
▶ 訪問看護計画立案作成	■ 訪問看護報告書の作成
▶ 初回訪問時の注意点	▶ エンゼルケア
▶ 初回訪問(バイタルサインのチェック)	▶ グリーフケア



苦痛をもつ患者と家族に寄り添い、QOLを高める

緩和ケアコース

監修 聖路加国際病院

緩和ケアとは	
■ 緩和ケアとは	■ 精神的側面の苦痛
■ 緩和ケアにおけるチーム医療	■ 不安、せん妄、抑うつ傾向にある患者のケア
■ 緩和ケアにおける看護師の役割	▶ 患者を支えるコミュニケーションのコツ
■ 緩和ケアで直面する倫理的問題	■ 社会的側面の苦痛
	■ スピリチュアルな側面の苦痛
全人的アセスメントとケア	
■ 全人的苦痛の理解	■ 家族ケア
▶ 身体的側面の苦痛	■ 看取りのケア
■ がん性疼痛の薬物療法を受ける患者の看護	■ 遺族ケア
■ 放射線療法を受ける患者への看護	■ その他（緩和ケア）
■ がん性疼痛の緩和に有効な看護ケア	▶ 事例紹介

透析の基礎知識から生活指導までを網羅する

腎不全看護コース

監修 聖路加国際病院

血液透析（HD）		バスキュラーアクセスカテーテルの管理 （血液浄化療法時の操作）	
▶ プライミング操作		▶ ▶	

NEW：2027年2月に新規公開予定のテーマ **Re**：2026年10月に改訂したテーマ

▶マーク：動画あり ■マーク：動画なし

※改訂した内容の反映は各施設ごとにお選びいただけます

妊婦・褥婦・新生児の観察とケアを通して周産期・母性看護を学ぶ

周産期・母性看護コース

†：監修 国立成育医療研究センター ‡：監修 聖路加国際病院

妊婦のアセスメントとケア [†]		■ 肩から上背部のマッサージ	
■ 妊婦健康診査(初診)		■ 下肢の浮腫への対処法と指導	
■ 妊婦健康診査(視診)		新生児の観察と検査 [‡]	
■ 妊婦健康診査(超音波ドプラ法による胎児心音の聴診)		▶ 新生児のバイタルサイン測定	
▶ 妊婦健康診査(計測診)		▶ 新生児のフィジカルアセスメント	
■ 妊婦健康診査(内診の介助)		■ 先天性代謝異常スクリーニング検査	
▶ レオポルド触診法		■ 経皮黄疸検査	
▶ 超音波検査の介助(経腹超音波検査)		■ 聴覚スクリーニング検査	
▶ ノンストレステスト(NST)の実施と評価		分娩期のアセスメントとケア [†]	
■ 生活指導		▶ 入院時期の判断とケア	NEW
■ マイナートラブルへの対処と支援		■ 胎児の健康状態および分娩進行状態の観察と診断	NEW
褥婦の観察とケア [‡]		▶ 内診	NEW
■ 産褥復古の観察		▶ 分娩促進ケアと産痛緩和ケア	NEW
■ 清潔指導(外陰部、乳房)		▶ 破水の観察と診断	NEW
■ 乳房の観察とセルフケア		▶ ベビーキャッチ	NEW
■ 授乳姿勢(ポジショニング)の観察とアセスメント		▶ 母子の早期接触支援	NEW
■ 吸着(ラッチ・オン)の観察と指導方法		▶ 分娩直後の出血量と胎児付属物の観察	NEW
■ 骨盤底筋体操			

精神保健福祉法に基づき、精神科看護の考え方と技術を学ぶ

精神科看護コース

制作協力 ハートランドしぎさん

患者の権利と法制度の理解		■ 退院調整・退院支援
■ 精神保健福祉法の理解		■ 院内外出における看護 NEW
▶ インフォームド・コンセントの取得		■ 外出・外泊における看護 NEW
■ プライバシーの保護	主要症候・症状のアセスメントとケア	
■ 貴重品・私物の取り扱いと管理	▶ 暴力・攻撃性-1. 予測と予防	
■ 危険物の確認方法と取り扱い	■ 暴力・攻撃性-2. 暴力への対応	
精神科看護における記録		▶ 拒食に対する援助
■ 精神科看護における記録	▶ 拒薬に対する援助	
精神科看護におけるアセスメント		▶ 自傷行為がある患者に対する援助
■ 精神科における情報収集とアセスメントの基礎	▶ 希死念慮・自殺念慮がある患者に対する援助	
精神科治療における看護		▶ 不眠症のある患者に対する援助 NEW
■ 隔離の最小化	▶ せん妄状態にある患者に対する援助 NEW	
▶ 隔離実施時の安全確保と観察	▶ 幻覚症状がある患者に対する援助 NEW	
■ 身体的拘束の最小化	▶ 陰性症状がある患者に対する援助 NEW	
▶ 身体的拘束実施時の安全確保と観察	▶ うつ状態にある患者に対する援助 NEW	
■ 向精神薬の理解と管理	▶ 躁状態にある患者に対する援助 NEW	
▶ 向精神薬の投与(持効性注射剤を含む)	▶ 解離症状がある患者に対する援助 NEW	
■ 急性期における頓用薬の使用と観察	疾患別の看護	
▶ セルフケアのアセスメントと援助	▶ 統合失調症患者の看護 NEW	
入院患者の看護		▶ うつ病(中等症・重症)患者の看護 NEW
■ 入院時における看護	■ 神経発達症(発達障害)患者の看護 NEW	